

高活協通信(2022年11月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

- 今話題のベストセラー本の著者をゲストにお招きして高活協会員懇談会を開催しました。
- 今月の「70歳就業法」関連情報欄に、連載「高齢者はどんな仕事をしているのか」の第1回を掲載しました。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「過疎の山里にいる 普通なのに普通じゃない すごい90代」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
 - ・「高活協ホームページ」のURLは以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

■2022年10月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数の会議やZOOM等を利用したオンラインの会議・イベント等は新型コロナの感染状況を睨みながら適宜実施しております。
- 2022年10月3日、高活協会員懇談会に向けて、今話題のベストセラー「ほんとうの定年後“小さな仕事”が日本社会を救う」の著者である坂本貴志氏(高活協会員懇談会のゲスト)と事前の意見交換・調整を行いました。
- 2022年10月28日、ゲストとして坂本貴志氏をお招きし、高活協会員懇談会(ZOOM会議)を開催しました。懇談会では、先ず坂本氏からベストセラー「ほんとうの定年後・・・」執筆の動機や狙いなどをご説明いただき、その後、質疑応答など意見交換を行いました。まだ30歳代の坂本氏が「ほんとうの定年後・・・」を書かれたのは、50歳代くらいまで続くハードな仕事が定年後も続くのかと不安を抱えている現役世代の勤労者が多いことが動機の1つであったと語っていました。
- 「70歳就業法」関連情報欄では、今月号から連載で「高齢者はどんな仕事をしているのか」を掲載することにしました。今月号はその第1回です。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2022年10月号)」を掲載しました。

○2022年10月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお「70歳就業法」関連情報は、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス◆◆◆」のコーナーに、適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という4つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。

そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■70歳就業法ー 職業寿命の延伸と生産性の向上を両立させられるかが鍵

○昨年4月から「70歳就業法」が施行され、企業等に70歳までの就業確保措置の努力義務が課されることになりました。企業等にとっては、「70歳就業法」の施行を、単に国による職業寿命の延伸政策ととらえるのではなく、全社的な人事・雇用制度を見直し、社員の意欲と生産性を高めるための機会と位置づける必要があります。

○今後このトピックスのコーナーでは、「70歳就業法」の施行に関連した情報を適宜掲載していきます。企業等の人材活用戦略などの参考にしていただければ幸いです。

坂本貴志氏の著書「ほんとうの定年後“小さな仕事”が日本社会を救う」(講談社現代新書)がベストセラーになっています。高齢者の就労本がベストセラーになるのは珍しいのですが、それだけ定年後の就労に世の中の関心が高まってきているということかもしれません。

そこで今月号から、「高齢者はどんな仕事をしているのか」といったテーマについて連載していきたいと思っています。連載第1回の今月号では、ファイナンシャルフィールドのサイトの内容をそのまま引用させていただ

く形で、実際に高齢者の就業率が高まっている現実から見ていくことにします。

高齢就業者数は、17年連続で増加（総務省統計局による）

2020年の高齢就業者数は17年連続で増加、過去最多の906万人を更新。2017年以降、団塊の世代が70歳となり始めたことなどから、主に70歳以上の層が増加している。

就労を希望するシニア層は約5割（株式会社カラダノートが2022年7月に実施した調査による）

46～80歳の男女244人を対象に実施した「就労意識に関する調査」によると、約5割は70歳以降も就労を望む結果となった。回答の理由として最も多かったのは以下のとおり。

(1)「社会貢献・社会や人との繋がり(40%)」(2)「自由に使えるお金が欲しい(30%)」(3)「仕事を通じた自己成長・自立したい(22%)」

また、働きたい方を対象にした、「働くにあたって不安に感じること」の質問については、以下の回答結果を得られた。働くことで収入を得て生活を安定させるのはもちろん、人とのつながりや他者への貢献をすることで、生活のクオリティ向上につながる。

(1)「自分の健康を配慮した環境があるか(47%)」(2)「報酬や勤務地といった希望する求人があるか(29.5%)」(3)「職場が高齢者に対し消極的な雰囲気ではないか(20.5%)」

高齢者が多数就業している職種とは（総務省統計局による）

高齢者の就業の多い職種は以下のとおり。

(1)「卸売業、小売業」128万人 (2)「農業、林業」106万人 (3)「サービス業(他に分類されないもの)」104万人 (4)「製造業」、「医療、福祉」がそれぞれ92万人

また、高齢者の占める割合の多い産業は、以下の結果となっている。

(1)「農業、林業」53.0% (2)「不動産業、物品賃貸業」26.4% (3)「サービス業(他に分類されないもの)」23.0% (4)「生活関連サービス業、娯楽業」18.7%

70歳以降のシニア層にも無理なく続けられそうな職種のご紹介

■マンション管理人： マンションの清掃や巡回などが主な業務で、特に経験・年齢は問われない。清掃は適度な運動ができ、また、住人とコミュニケーションをとることで、心身ともに活発になる。 ■家事代行： 料理や掃除、買い物など家事全般が得意な人は、家事代行の仕事もおすすめ。仕事で家事に使える時間がない人が増える中、家事代行のニーズが高まってきている。 ■Webライター： 外に出て働く体力がない

場合は、在宅で Webライターとして働くこともできる。ある程度の専門知識やリサーチ力・根気が必要だが、体力的な負担は非常に少ないのがメリット。 ■動画編集者： 動画編集者も在宅での仕事が可能。動画編集に適したパソコンやソフトにお金がかかり、スキル習得も簡単ではない。しかし、近年は動画共有プラットフォームや SNS の人気が高まり、それとともに動画編集の需要も高まっている。スキルと営業力があれば、個人事業としてもやりがいのある仕事といえる。

まとめ

仕事を選ぶときは収入のほか、通勤時間、体への負担、拘束時間、危険度などを考慮する必要がある。たとえ高収入を得られなくても、継続しやすい仕事を選ぶことで、経済面・精神面・体力面が安定して、生活のクオリティを上げることができる。また、「すぐに稼げる」というような甘い誘いには乗らないようにすることも大切。疑問点、不審な点があれば、1人で解決しようとせず、まわりの人に相談すると、トラブルの防止につながる。

出典：1.総務省統計局 令和3年 統計からみた我が国の高齢者―「敬老の日」にちなんで―より「2. 高齢者の就業」

2.株式会社カラダノート 就労意識に関する調査(2022年)

執筆者： FINANCIAL FIELD 編集部

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の1冊

人生100年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書名：過疎の山里にいる 普通なのに普通じゃない すごい90代

著者：池谷 啓いけや けい

出版社：すばる舎

(URL <https://www.subarusya.jp/book/b610600.html>)

定価：1,540円(税込)

今回は、山間で暮らす元気な90代の方々を取り上げた書籍を紹介します。著者の池谷さんは、都会暮ら

はるのちょう
しに限界を感じて静岡県浜松市の春野町に移住。故郷が浜松市だったことに加えて、“春の野の町”という言葉の響きが気に入り、「ここがいい」と思ったそうです。古民家と土地 1700 坪を手に入れた池谷さんは、無農薬のアイガモ農法で米作りに励み、大豆を育てたり、炭焼窯をつくったりしているそうです。本書には、そんな池谷さんが春野町で知り合った、すごい高齢者の方々が紹介されています。

- 〈いつも人の役に立とうとしてきた人生〉宮脇眞一さん(95 歳)
- 〈過疎の集落唯一の商店を毎日開く店主〉尾上せき子さん(99 歳)
- 〈自ら大木を伐採し枝打ちもする林業家〉鈴木末吉さん(92 歳)
- 〈森の中の一軒家で丁寧なひとり暮らし〉中田俊子さん(92 歳)
- 〈何事もさりざらりと、決して怒らず〉村上久子さん(95 歳)
- 〈おちゃめな笑顔で人気者の和紙職人〉大城忠治さん(93 歳)
- 〈この道 77 年、注文が絶えない鍛冶職人〉片桐保雄さん(91 歳)
- 〈山奥の古民家で「晴耕雨読」の老夫婦〉故・横田夫妻(95・94 歳)
- 〈車で巡回して単身高齢者の買い物支援〉猿田光里さん(77 歳)

尾上さんは店主として、片桐さんは鍛冶職人として現役を続行中。猿田さんは定年退職後に高齢者の生活を支える買い物支援を生業としたかたです。

過疎化が進む山里にも、鉄人のような 90 代の元気な高齢者がたくさんいることがわかります。春野町でも、年を重ねて施設のお世話になる高齢者が増えてきているようですが、どの人の言葉からも、少々の不便は我慢してでも、慣れ親しんだ土地で暮らし続けたいという意志が感じられます。90 代を迎えてから一人で生活するにはどうすれば良いのか、考えるきっかけを与えてくれる一冊です。

(個人賛助会員:坂巻 大)

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2022 年 11 月号(2022 年 11 月 1 日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

<特集>令和 4 年度 高年齢者活躍企業コンテスト

～独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰優秀賞受賞企業事例から

- 優秀賞**
- ・株式会社ヴィオーラ(茨城県水戸市)
 - ・株式会社 NJS(東京都港区)
 - ・株式会社横引シャッター(東京都足立区)
 - ・株式会社セイセイサーバー(静岡県静岡市)
 - ・株式会社 GFM(愛知県名古屋市)
 - ・合同会社 Syuhari(愛知県豊橋市)
 - ・株式会社伊勢福(おかげ横丁)(三重県伊勢市)
 - ・株式会社南光(鹿児島県鹿児島市)

<連載>

○リーダーズトーク(No.90)

神奈川県歯科大学 歯学部教授(健康科学講座社会歯科学分野) 山本龍生さん

○江戸から東京へ 作家 童門冬二(第120回)

密航は愛国青年の美挙だ ペリー

○高齢者の職場探訪 北から、南から(第125回)

鳥取県 株式会社ミテック

○生涯現役時代の高齢社員活躍支援のポイント 森中謙介(第4回)

役割・職責の変更に備えてもらおう!

○高齢者に聞く 生涯現役で働くとは

※休載

○知っておきたい労働法 Q&A(第54回)

定年後再雇用の雇止めと労働条件、固定残業代の要件

○いまさら聞けない人事用語辞典

※休載

○集中連載 マンガで学ぶ高齢者雇用 教えてエルダ先生!

(第5回) 高齢社員が若手の育成をしてくれませんか

○日本史に見る長寿食

※休載

○技を支える(vol.321)

築炉工 近藤正夫さん



配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第6 葉山ビル 4階

TEL: 03-6555-3926

HP: <http://www.agenomics.org>
